



東京（日本）／ジュネーブ（スイス）発

2023年3月10日

ブリヂストン、FIA とのパートナーシップを通じてエコラリーカップをサポート

ブリヂストンは FIA の車両の電費効率を競うラリー競技「ecoRally Cup（エコラリーカップ）」にタイトルスポンサーとして参画します。

新たな大会名は「Bridgestone FIA ecoRally Cup（ブリヂストン エフアイエー エコラリーカップ）」で、ブリヂストンと FIA は複数年のパートナーシップ契約を通じて ecoRally Cup をサポートします。「Bridgestone FIA ecoRally Cup」では、大会を通じて省エネルギーなどの環境課題に応えるとともに、環境課題に対するドライバーや大会関係者の積極的な行動を促していきます。FIA（Federation Internationale de l'Automobile / 国際自動車連盟）は世界各国の自動車団体により構成される非営利機関で、国際モータースポーツ競技も管轄する連盟です。

2006 年より開催している ecoRally Cup は、サーキットではなく一般公道で行われる大会です。また、一般販売され且つ一切の改造が禁止されたゼロエミッション車（BEV、FCV）のみが参加可能であることから、参加者はマイカーで参加することができ、大会のみならず日々の生活の中でも環境課題を意識した運転の推進へと繋がります。

「Bridgestone FIA ecoRally Cup」では、ブリヂストンが「EV 時代の新たなプレミアム」として位置付ける、環境性能と運動性能を両立する革新的なタイヤ基盤技術「ENLITEN®」を搭載するタイヤを訴求していきます。また、FIA とのパートナーシップを通じて、モータースポーツの国際的な発展に寄与するだけでなく、交通安全の推進など国際社会の要請にも応えていくことができます。

本日、富士スピードウェイで行われた「2023 年度 ブリヂストンモータースポーツ活動発表会」の中で「Bridgestone FIA ecoRally Cup」をサポートすることを発表しました。株式会社ブリヂストン グローバルマーケティング戦略統括部門長の高城知行は「FIA とのパートナーシップを通じて、『Bridgestone FIA ecoRally Cup』をサポートできることを大変嬉しく思います。ブリヂストンは企業コミットメント『Bridgestone E8 Commitment』を掲げ、サステナブルなソリューションカンパニーへの変革を加速しています。技術やモータースポーツ文化を支える活動を通じてコミットメントを実現し、『走るわくわく』をご提供するとともに、カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えていきたいと考えています。」とコメントしました。

また、FIA ラリー部門ディレクターのアンドリュー・ウィートリー氏は「『Bridgestone FIA ecoRally Cup』を複数年にわたってサポート頂けることを大変喜ばしく思います。ブリヂストンとのパートナーシップを通じて、大会の開催地域の拡大や競技が持つサステナビリティに寄与する側面にスポットライトが当たるなど、新たな層にアクセスできると考えています。省エネルギーや責任あるモータースポーツ、持続可能なモビリティへの取り組みは FIA のサステナビリティへの想いそのものです。」とコメントしています。

